

## “Interview with CEO”

Mrs. Pascale Sourisse 社長 兼 最高経営責任者

アルカテル アレニア スペース社



このインタビューでは、情報通信研究機構（NICT, National Institute Communications Technology）、無線通信部門長 鈴木良昭氏（元 SJR 編集委員長）が、Pascale Sourisse（アルカテルアレニアスペース社（Alcatel Alenia Space）社長 兼 最高経営責任者）と世界の宇宙開発の現状と将来について対談した模様を報告します。又 Pascale Sourisse, Alcatel Alenia Space 社、社長 兼 最高経営責任者は将来の宇宙開発戦略に関する彼女の考え、ハイブリッド衛星ネットワークの必要性等を熱心に説明強調された。

SJR: 最初に、私たちの「最高経営責任者とのインタビュー」をお受け頂きありがとうございます。また、AIAA Japan Forum の活動支援のため時間を割いて頂いたことに感謝致したいと思います。2月ワシントンで開催された Satellite 2006 Conference に参加して SSPI Gala や Ariane Space 社のレセプションで SJR 編集特別顧問と共にお目にかかれてインタビューをお願いしましたところ快くお引き受け頂き光栄です。

ご承知のとおり、SJR は米国航空宇宙航工業会(AIAA)の中の衛星通信に関する専門委員会（AIAA ICSSC TC）に設置されている一小委員会 AIAA JFSC（AIAA Japan Forum Satellite Communications）によって作成刊行されている技術的な刊行物です。初め SJR は、ハードコピーとして刊行されましたが、現在は、インターネット上に配布される電子メディアです。このセグメントでは、私たちはこの企画を世界的な通信衛星メーカーや、衛星通信オペレータの最高経営責任者の戦略と野心について議論し、その趣旨を AIAA メンバーと SJR 読者へ提供するコラ

ムとして創設しました。

**SJR:** 先ずは Alcatel Alenia Space に関する主要なハイライトについて私たちにお話し頂けますか？

**Mrs. Pascale Sourisse 社長 兼 最高経営責任者:** Alcatel Alenia Space はヨーロッパにおける宇宙開発のリーダーであり、サテライト・システムと軌道上のインフラストラクチャ構築の最先端技術において、世界で No.3 に位置する会社です。会社は、Alcatel Space と Alenia Spazio (Finmeccanica)で開発された技術の膨大な経験とノウハウを集めて 2005 年 7 月 1 日に創設され、宇宙開発のための世界的標準を代表しています、そして、会社の能力はナビゲーションからテレコミュニケーションにまで及んでいます、気象学から環境モニタリングまで、ディフェンスから科学観測まで広い範囲をカバーする能力を持っています。今日、Alcatel Alenia Space は衛星技術を中心として、ディフェンスセクターから民間セクター向けまでの両方に高性能で強力な立場を持っております。

**SJR:** アルカテル Alenia Space は通信衛星開発分野とその関連技術でヨーロッパにおけるトップメーカーですね、その成功の秘訣はどのようにして達成されたのでしょうか？

**Mrs. Pascale Sourisse 社長 兼 最高経営責任者:** Alcatel Alenia Space は通信衛星とそのペイロードに関する分野で世界的なリーダーです。合衆国、ロシア、ラテンアメリカ(アフリカ)、および中東から注文が来ています、又アジアからも注文がくるように、この分野で現在も成長を続けているビジネスもあります。2005 年に、Alcatel Alenia Space は 4 つのテレコミュニケーション衛星契約にサインしました: ChinaSatcom 社向けの China sat 6B と China sat 9、タイの Shin Satellite 社向けの Thaicom V、および Embratel 社向け衛星である Star One C2 でありこれは軍事衛星です、Star One 社はラテンアメリカで最も大きい衛星ソリューション会社です。今日、Alcatel Alenia Space の衛星ポートフォリオは、最も大きい Spacebus 4000 C4 プラットホーム(今年カナダの Ciel Satellite によって与えられた淡青色-2 衛星)から現在市場へ新しくエントリする段階の衛星 Spacebus 4000B2(今年 Turksat AS によって与えられた Turksat 3A 衛星)までカバーしています、その結果通信衛星オペレータがさまざまな形で広帯域アプリケーションを市場に提供する事を可能にしています。更に新しい衛星プラットフォームである Alphabus はまもなく私たちの開発ラインに入ってくるでしょう。私たちの目的は、衛星市場におけるディフェンス用衛星、セキュリティ対応衛星や商業分野の市場に一流競争会社として参加し続けるために私たちの衛星プラットフォームの競争力をアップするために更なる技術開発力アップに注力することです。



**SJR:** 私は、御社が通信衛星開発の分野でトップメーカーに成長するには、その初期において、大変な挑戦が必要であったと確信しています。その挑戦と成功に至る経緯についてのバックグラウンドなどを私たちにお話し下さい。

**Mrs. Pascale Sourisse 社長 兼 最高経営責任者:** 成功の秘訣は私たちの製品性能と信頼性向上、顧客に対するサービス向上にあります。開発進行中のプログラムに関して納期や性能について顧客と約束した公約を守る事です、そして、私たちの競争力を向上させることです、更に先に進むために、意欲的な政策を追求していくことです。Alcatel Alenia Space は世界的な衛星通信ソリューションプロバイダーとして他社にない独特な利点を持っています。この利点は、会社が電気通信顧客との密接な関係を堅持して、カスタム設計されるのと同時に未来の要請事項に対して解決法を彼らに提供するのを可能にしています。Alcatel Alenia Space は、新しい儲かる商売の開発で電気通信事業顧客と行動を共にする理想的な位置に置かれます。例えば、Broadband のモバイルテレビ市場に関して、私たちは、アルカテルの強い能力の上で大衆市場アプリケーション向けにテレコミュニケーションオペレータと共に行動し開発する好位置におり、その成果が期待できます。

**SJR:** Alcatel Alenia Space は、環境モニタリングと地上環境管理に深く関わっており、新種業務の開発をサポートするため迅速に行動しているように思えます。衛星による環境モニタリングサービスについて、ヨーロッパと世界において現状と未来について何を行なおうとしているのでしょうか？

**Mrs. Pascale Sourisse 社長 兼 最高経営責任者:** Alcatel Alenia Space は多くの環境事業計画に参加しています。その範囲は地域的、国家レベルで、ヨーロッパ全域、そして国際レベルにおいて深く関わっています。特にAlcatel Alenia Space は 欧州委員会 (European Commission) と欧

州宇宙開発機構と密接な協力関係にあり、環境とセキュリティ問題に関連するプロジェクトであるGMES(Global Monitoring for Environment and Security)に非常にアクティブに活動しています。これは欧州委員会と欧州宇宙機関との共同で、公共の政策立案者の支持を得て信頼性の高い、タイムリーなサービスの提供を可能にしています。 Alcatel Alenia SpaceはObservation、Telecommunication、およびNavigationなどの衛星開発に強固な立場を維持しています。これらの衛星は効率的な環境モニタ、セキュリティ監視、情報通信とマネジメントシステムであり、会社の事業運営の3本柱とすることができます。

今日、情報通信技術のアプリケーションとして、センサデータと社会経済データの結合によりさまざまな重要なサービスが提供できます。 これはいわゆる先行観測衛星であるGMESの重要な役割の1つです。

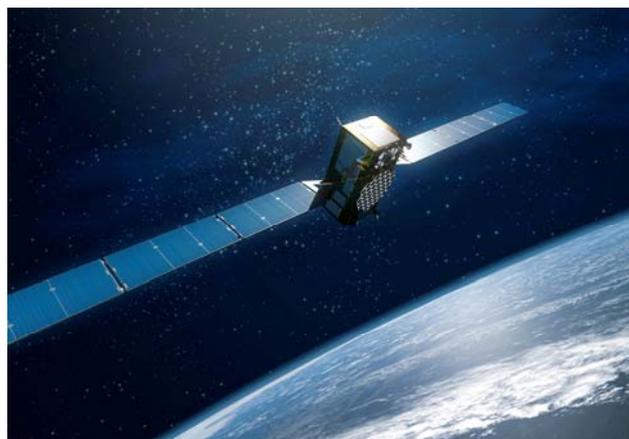
まずは、GMESにおけるヨーロッパ全土への運用サービスは2008年に開始されます。その後 継続的に打ち上げられる一連の衛星“the Sentinels”によってサービスの継続が保証されています。



**SJR:** あなたは、公的機関と一般産業向けにどのように衛星サービスシステム、ソフトウェア、および製品を開発し、販売していきますか？

**Mrs. Pascale Sourisse 社長 兼 最高経営責任者:** 潜在的成長要素は電子政府、遠隔医療、遠隔学習、およびリスク管理サービスからもたらされます。 Alcatel Alenia SpaceはTelespazio (潜在市場に対して新しい衛星技術を応用したアプリケーションの開発と衛星を利用したサービスを開発している私たちの姉妹会社) と緊密に連携しています。例えば、電気通信と Navigation 領域では、私たちが無線機器のための Location Based Services(LBS)などのアプリケーションを開発しています。また、私たちは列車や飛行機などの移動体通信環境における広帯域インターネットにも取り組んでいます。また、モバイルテレビは主要なモバイルマーケットの牽引役として現れます、そして、衛星のモバイルテレビはこれからの希望の持てる新しい市場候補として観ています。

SJR: 衛星観測は重要な衛星アプリケーションの 1 つです。あなたはこの市場において、衛星通信と衛星観測の融合に関してどのような見通しをお持ちでしょうか？



Mrs. Pascale Sourisse 社長 兼 最高経営責任者: 環境モニター事業は世界的視野において先見性があり非常に興味深い分野です。以前にも言及したように、世界の中でこの市場における主演者として、Alcatel Alenia Space は確実に深く環境とセキュリティプロジェクトに関わっていきます、欧州の GMES プロジェクトなどと同様に。

**さらに、この市場は、今後益々、多くの国が自国の独立性を強化するために観測能力の強化を深く追求しているという事実によって今後益々利益をもたらすプロジェクトであるということが出来ます。**

SJR: 衛星技術をベースとしたプロバイダーとして、御社の今後の開発戦略をお話してください。

Mrs. Pascale Sourisse **社長兼最高経営責任者**: Alcatel Alenia Space はスペースセクターにおける国際的俳優です。私たちは衛星や地上セグメントなどの様々なスペースドメインにおいて強い立場にたって活動しています。この分野における国際的俳優として、国際的なレベルでの活動を電気通信分野と公共市場でより高度の技術の開発に努力することを目的としています。Alcatel Alenia Space は顧客の必要性に自分たちの活動を適合させることができるフレキシブルな会社です。私たちの顧客の要求によって、世界の各国で、既にパートナーシップ協定を産業界と結びました。例えば、U.S オペレータ SES AMERICOM と重要な契約(AMC-21)を獲得しました、まさしく U.S の非常に小さい静止衛星プロバイダーですが。私たちはロシアでロシアの衛星プロバイダー(特定非営利活動法人 NPO-PM)と同様の契約を結びました。Alcatel Alenia Space は地球観測に基づくヨーロッパの環境観測プロジェクト GMES や地球観測で非常にアクティブな活動を行っています。

SJR: あなたはヨーロッパと他の領域の衛星製造会社との提携を促進されますか？

Mrs. Pascale Sourisse **社長兼最高経営責任者**: 既述のとおり、Alcatel Alenia Space はフレキシブルな会社です。私たちは市場で必要になれば、いかなる他のプレイヤーとも協力します。U.S とロシアでのパートナーシップが非常にうまく稼動しているのがその良い例題です、我々がこの方策に非常に積極的である良い例証でもあります。それらは私たちの Spacebus B2 より少ない容量の衛星でマーケットにこれから参入する段階の小型衛星市場に道を開くものです。

SJR: 現在アジアでの宇宙開発活動が活発化しています、中国とインドは活発に彼らの宇宙開発計画を推進しています。アジアにおけるパートナーシップとアジア太平洋地域の衛星通信ビジネスの発展動向をどのようにみておりますか？

Mrs. Pascale Sourisse **社長兼最高経営責任者**: アルカテル Alenia Space は中国の宇宙開発産業の急速な発展に深くかかわっております。私たちは、既に 10 年以上北京に駐在しています、中国には長年にわたって存在していますのでその証に最初の契約は 20 年以上前にサインしました。私たちはここ数年間、中国の宇宙プログラムの発展のために私たちの活動の全ての領域で提携を進めてきました。本当に、私たちの Spacebus 衛星系は長征ロケットでの打ち上げと完全に互換性があります。通信と放送の分野において、私たちは数個の Spacebus 衛星を納入しました、そして更に、2 つの大電力衛星を現在生産中です。また、私たちは、中国向けと共同での輸出市場の両方に対応するために Chinese Academy Space Technology(CAST)と共に衛星搭載機器レベルでの提携関係を確立しました。これらは別として、私たちはナビゲーション衛星システムと科学衛星プログラムでも提携を確立しました。

中国はアルカテルと Alcatel Alenia Space の両方のリーディングエッジ市場です。したがって、私たちは、3G コンパチブルなモバイル放送システムを実現するため、その技術に通じている主な中国人のパートナーと共に広範囲に及ぶ提携を実現しています。

SJR: 地上回線を含む他の種類のネットワークに衛星通信を結合するハイブリッド回路網へのシフトは今後主要なテーマになるでしょう。Alcatel Alenia Space のこの分野での戦略は如何ですか？

Mrs. Pascale Sourisse **社長兼最高経営責任者**: アルカテルは放送テレビを携帯電話に供給することを目指すモバイルテレビ広帯域放送プロジェクトの開発を検討しています。モバイルテレビが成功するためには、屋内と野外両方で完全に動作することが必要であり、更に無制限の数のチャンネルを稼働させなければなりません。携帯電話メーカーは既にこの技術に興味を示しています。Alcatel Alenia Space は、通信衛星とペイロードプロバイダーとして特別にこのプロジェクトにリーディングカンパニーとして参加しています、又この領域に我々の持っている専門的技術を提供しても構わないと思っています。私たちが電気通信網における深い知識がある唯一の衛星ソリューションプロバイダーであるので、このようなプロジェクトでアルカテルと協力するのは有益であると考えています。私たちのハイブリッド・ソリューションは DVB-H 規格に基づいています、そして、私達はこの規格を S-バンドで使用するよう提案します、ちょうど私たちの顧客が DVB-H に投資するのがより簡単であるように。今年の終わりごろまでには、衛星携帯電話会社が、S-バンドスペクトルを用いて、衛星と地上のネットワークを融合して、このソリューションを実現するでしょう。

SJR: AIAA Japan Forum では、衛星インターネットと移動体通信や光ファイバーとの競争を考慮しながら衛星通信技術の開発と衛星通信ビジネスの未来における発展を願っています。そのために日本の宇宙開発計画では今後どのような技術開発を行ったら良いとあなたは思いますか？

Mrs. Pascale Sourisse **社長兼最高経営責任者**: 固定通信及びモバイルインターネットの成長は地上の電気通信ネットワークを通してマルチメディアサービスの根強い需要を喚起しますが、また、衛星を通して同様のサービスを行うようにも喚起するでしょう、そして衛星は貴重な特徴(1)を提供します。ユーザ中心の、何時でもどこにでもサービスできる広帯域通信が実現するには革新的な技

術を持っている高度な衛星が必要です。 将来の通信衛星は情報と Communication Technology ドメインの大部分の利益を生み出すかもしれません: デジタルで、マイクロの光通信工学とナノ技術など...

確かに、日本人の宇宙開発計画は世界宇宙ビジネスに貢献しています、安全で繁栄している社会を保ちながら衛星の役割を増やすためのグローバルなプロジェクトの開発に関与しています。 例えば、私たちは日本の主役で人工衛星の技術が緊急事態の管理に役立っている事に非常に感動しています。 いくつかの衛星技術ドメインでは、日本は世界的衛星産業の競争力に多に貢献する国際的に通じる技術力を持っています。 紙面の都合でほんのわずかの例しか言及できませんが例えば 半導体技術(HEMT と SSPA)、自由空間光通信技術(衛星間通信技術)、バッテリー、太陽電池、大規模展開アンテナ、そして、ロボット技術などの分野ですね。

*(1) It can cover wide areas, enables rapid service development, provides efficient and cost effective complement terrestrial infrastructure , resists to natural disasters or human aggressions*

SJR: 最後に、AIAA Japan Forum は AIAA ICSSC 2005 開催の重要なパートナーでした。 私たちは、欧州におけるこの会議に楽しく参加しました、そのときの感想としてヨーロッパの衛星メーカーと宇宙関連組織とのパートナーシップを推進するよう強く感じました。 そして、また、私たちは 2007 年にはアジアで APSSC と共同スポンサーシップの下で AIAA ICSSC 2007 を主催する計画です。 欧州での AIAA ICSSC 2005 では AIAA JFSC の多くの日本メンバーが、セッションチェアと論文発表を行いました。 皆さんの協力に感謝申し上げます。

最後に衛星通信と AIAA Japan Forum への協力に重ねて御礼申し上げます、ありがとうございます。

(コラム編集: 編集特別顧問 北爪進)